

# 「尿路感染症」って？

気になる時は早めにおしっこの検査をしましょう。

「尿路感染症」という病名は、お母様方には聞きなれない病名だと思いますが、尿道、膀胱、尿管、腎盂など尿路(おしっこの通り道)に感染をおこす病気を総称していいです。最近、小児では頻度の高い感染症であり、上部尿路(腎臓、尿管)、下部尿路(膀胱、尿道)に分けられます。

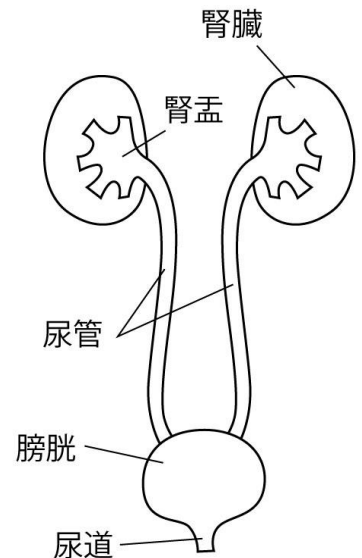
膀胱炎 : 膀胱に感染がおこったとき (下部尿路)

腎盂腎炎 : 腎臓まで感染がおこったとき (上部尿路)

★**症状** : 子どもの尿路感染症は症状がわかりにくく診断が難しいことが多いです。(発熱以外わかりにくい)

①乳幼児 : 発熱や不機嫌、オムツに膿がつくなど

②幼児・学童 : おしっこが近い、排尿時痛、発熱、倦怠感、腹痛など



★**治療** ●薬物治療: 抗菌薬を投与します。

●治ったと思っても症状がなくなっているだけで菌が消失していないことがあります。

※かかりつけの医師の指示に従ってください。(時に入院治療が必要なこともあります。)

## ★家庭でできること

①水分をいつもよりたくさんとる。(体の中の細菌を洗い流すように)

②おしっこをがまんしないこと。

③便秘をしないように毎日うんちをしよう。(便秘が続いていると尿路感染症になりやすいので)

④女の子は排便後のふき方にも注意して(前から後方へふくように注意する)

## ★再発の予防

●尿路感染をくり返すと腎臓に障害を残し、大きくなっても引き続き治療が必要なことがあります。

●症状がとれても、かかりつけの先生が指示した通りにきちんと薬を飲みましょう。

●くり返す場合は尿路に異常がないか詳しい検査が必要です。特に1歳未満の乳児では 20~30%に膀胱尿管逆流現象など先天性尿路異常を合併していることがあり注意が必要です。

